

# 連携提案:「各教科の特性を生かしたキャリア教育」の検討と「キャリア教育を中核としたカリキュラム・マネジメント」の提案

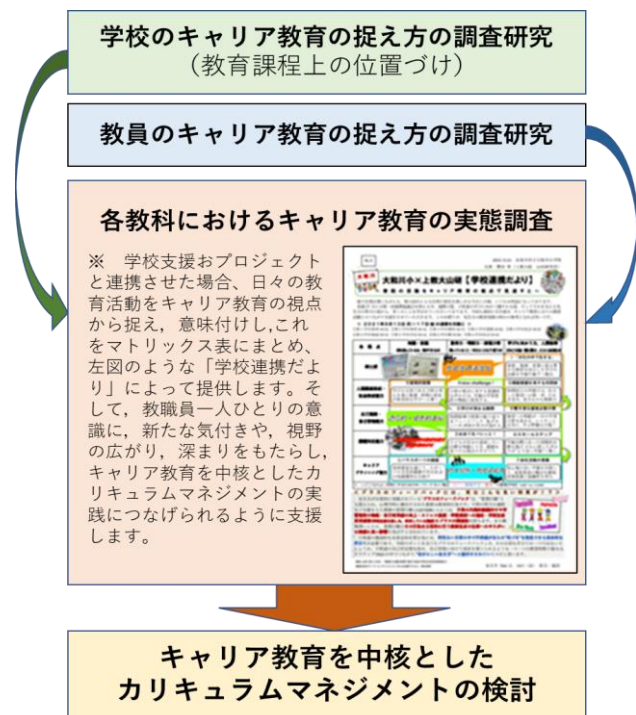
学校教育学系 教授 山田智之 Yamada Tomoyuki

## 連携提案内容と効果

小・中学校学習指導要領(平成29年告示), 高等学校学習指導要領(平成30年告示)には, 「各教科等の特質に応じてキャリア教育を行うこと」が示された。しかしながら, キャリア教育の捉え方が多様であり育むべき能力や価値観について十分な理解が広がっていないことや学級担任制と教科担任制の相違などを背景に, 小学校と比較すると中・高等学校の「各教科におけるキャリア教育」の実施率は非常に低い状況にある(国立教育政策研究所, 2013)。

本連携では, まず, ①学習指導要領に示された「基礎的・汎用的能力」や「生きる力」を中心概念とした教員個々人のキャリア教育の捉え方を検討する。次に, ②各教科におけるキャリア教育の取り組みとキャリア教育の捉え方との関係について教科特性や学校段階を鑑みながら明らかにする。そして, 得られた結果をもとにキャリア教育を中核としたカリキュラム・マネジメント, 効果的な実践や教材開発等を進め提供する。

## 連携概念図



## アピールポイント

日本キャリア教育学会における研究推進活動をはじめ、教職員研修会等での講演活動、学会等での研究会の開催、児童・生徒を対象とした出前講座など多義にわたる活動を行っている。また、研究成果について学会誌・大学の研究紀要等で発表・報告を行っている。

## 連携したい分野

教科特性や学校段階等を踏まえた「各教科におけるキャリア教育」の検討と開発、キャリア教育を中核としたカリキュラム開発と、カリキュラムマネジメントの検討

## 研究テーマ:



<b>プロフィール</b> 1961年、東京都生まれ。2015年より上越教育大学、博士(総合社会文化)、東京都公立中学校副校長を歴任、日本キャリア教育学会常任理事、同学会研究推進委員長、新潟県社会教育委員連絡協議会会長等	<b>専門分野</b>	キャリア教育、キャリアカウンセリング
	<b>主な研究内容</b>	キャリア教育を中心に、学級経営や教科指導の展開、学校を取り巻く諸問題や学校経営上の課題の解決に向けて、心理学的な視点から実践的・実証的に研究を行っている。
<b>関連URL</b>	<a href="https://researchmap.jp/tomoyuki">https://researchmap.jp/tomoyuki</a>	

## 関連する業績等

著書:『教職員のための職場体験学習ハンドブック』実業之日本社、『教職シリーズ7 進路指導』(分担執筆)培風館『ミネルヴァ教職専門シリーズ8 生徒指導論・キャリア教育論』(編著)ミネルヴァ書房、『サブカルチャー心理学2 - 「趣味」と「遊び」の心理学研究 - 』(分担執筆) 福村出版など。  
 山田智之 (2014). 中学校3年生の自律的進学動機の変容, キャリア教育研究, 33, 1-10.  
 山田智之 (2013). 中・高・大学生における未来イメージの相違, キャリアデザイン研究, 9, 79-91.  
 山田智之 (2011). 職場体験による中学生の進路成熟及び自律的進学動機の変容と影響要因, キャリア教育研究, 30, 1-14.

お問い合わせは、 研究室 tomoyuki@juen.ac.jp